

設置の背景・概要 等

（背景）

がんの治癒率は上がってきているとは言え、膵臓癌、卵巣癌などは画像診断の困難さなどから早期診断が難しく予後が良いとは言えない。そこでエクソソームによるがんの早期診断を可能にすべく各種のがんに対する新規抗体の開発が待たれている。

また、リンフォーマの診断の中で最も問題になっているのはNK/Tリンフォーマの診断です。

押味和夫先生は「本来はNKリンフォーマとT細胞リンフォーマに鑑別して診断しなければなりません、NKに似たT細胞などとは反応しない抗体が得られるか、というのが最大の問題になります。NKにしか発現してない epitope を認識する抗体なら用途は無尽です。もしパラフィン包埋切片にも使用可能でしたら、今後の病理分類が全く変わってくる可能性があります。今の病理分類はNKとTの疾患を同じ範疇に入れていますが、違う細胞なのになぜこんなことをするのか不思議です。もし標本がパラフィン包埋切片しかないなら両者の鑑別は完全には不可能なので、今の分類になっています。」と書いておられ、国立ガン研究センターガン情報サービス <https://ganjoho.jp/public/index.html> においても、実際には両者の区別は難しく、どちらの型でも症状や治療方針は同じため、「NK/T細胞リンパ腫」と呼ばれます。と記載されており、新しい免疫診断抗体が待たれています。

（目的）

各種がん種ごとに、複数のがん細胞株もしくは患者手術検体から得たがん細胞を生きたままマウスに免疫し、免疫に用いなかった第3のがん細胞株への結合性でスクリーニングするという方法で抗ヒトがんモノクローナル抗体を作出している。

本年は抗膵臓癌、卵巣癌（明細胞癌と卵巣由来サルコーマ）抗体の作出、および昨年からの継続で作成済み抗NKリンフォーマ診断抗体の開発を目的としている。

| 区分 | 番号 | 学位論文 | 全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号 | 国際共同 |
|--------|----|------|--|------|
| 英文原著 | 1 | | Katsumata H, Miyairi S, Ikemiyagi M, Hirai T, Fukuda H, Kanzawa T, Ishii R, Saiga K, <u>Ishii Y</u> , Omoto K, Okumi M, Yokoo T, Tanabe K Impact of activated invariant natural killer T cells on the expansion of regulatory T cell precursors in murine thymocytes in vitro. Immunology letters 206 41-48 Nov 2018 | |
| 区分 | 番号 | | 発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等 | 国際共同 |
| 国内学会発表 | 1 | | Tokuko Toyota, <u>Shuji Matsuoka</u> , Norio Komatsu, Hideo Yagita Anapocosis -inducing mAbs may be promising therapeutic device for hematological cancer 第77回日本癌学会 大阪国際会議場 2018年9月27日 | |

| | | | |
|-----------|----|--|------|
| 国内学会発表 | 2 | Natsuko Mizutani, , <u>Shuji Matsuoka</u> , Shiori Sakayori Comparison of anapocosis cell death induced by anti-mouse pan MHC class I mAb and anti-pan HLA class II mAb 第77回日本癌学会 大阪国際会議場 2018年9月27日 | |
| 国内学会発表 | 3 | 酒寄詩織、松岡周二、水谷奈津子、寺尾泰久 新規抗CD10抗体の悪性リンパ腫に対する治療効果 第77回日本癌学会 大阪国際会議場 2018年9月27日 | |
| 国内学会発表 | 4 | 豊田稔子、松岡周二 Therapeutic effect of anti-pan HLA class II mAb on B cell lymphoma 第5回Tsurui Lymphoma Workshop 2018年8月5日 | |
| 国内学会発表 | 5 | Shuji Matsuoka, Tokuko Toyota, Yasuyuki Ishi, Hideo Yagita, Michishige Harada Anapocosis-inducing mAbs may be promising device for cancer日本免疫学会仙台 2018年12月12日 | |
| 区分 | 番号 | 発表者名、演題、学会名、場所、発表年月日等 | 国際共同 |
| 特別講演・招待講演 | 1 | 松岡周二 A novel method for establishment of cytotoxic anti-NK lymphoma mAbs 第5回Tsurui Lymphoma Workshop 2018年8月5日 | |
| 特別講演・招待講演 | 2 | 松岡周二 抗NKリンフォーマ抗体の樹立方法 第一回Trans Chromosomics (TC)シンポジウム 鳥取大学医学部米子キャンパス 2018年11月8日 | |
| 特別講演・招待講演 | 3 | 松岡周二 アナポコーシスとCAR-B therapy 国立がんセンター先端医療開発センター 大講堂 2018年12月10日 | |